

令和 7 年 5 月 13 日

リハビリテーション部に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名 間質性肺疾患患者における入院関連能力低下と生命予後の関連

研究機関 市立札幌病院 リハビリテーション部

研究責任者 診療科名／実施責任者名 リハビリテーション部／栗本俊明

研究の目的

間質性肺疾患患者において、入院関連能力低下（入院生活によって退院後に何らかの介助が必要となること）が退院後の死亡率に影響を与えるのかを検証することです。

研究の方法

1 対象となる患者さん

2017 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日の間に、間質性肺疾患（以下 ILD）に対する検査・治療目的で入院した患者のうち、理学療法処方であった 18 歳以上の方です。

2 利用するカルテ情報

診療録より、診断名、基礎疾患、年齢、性別、身長、体重、BMI、体表面積、併存疾患、入院時および退院時の経皮的動脈血酸素飽和度（その時の吸入酸素濃度を含む）、スパイロメトリー（肺活量、一秒率、DLCO、DLCO/VA）、検査所見（血液検査・胸部 CT 検査〔第 12 胸椎高位の脊柱起立筋断面積および CT 値〕）、入院中に使用した呼吸管理機器（IPPV、NPPV、酸素マスク、経鼻カニューレ）、投薬内容（抗線維化薬、免疫抑制剤、ステロイドパルス）、リハビリ経過（リハビリ開始日、歩行開始日、介入日数、1 日当たりの実施単位数）、入院時と退院時の機能的自立度評価表（FIM）、退院後の転帰（2025 年 5 月時点での生存および死亡）を調査し、後方視的に検討いたします。

個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究

成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報を利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目
市立札幌病院リハビリテーション部